

セメント・同製品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	作業場兼資材置き場の掃除をしていたときに躓いてしまい、積んでいたコンクリートの塊（約60cm×60cm×90cm）で胸を打ち、負傷してしまった。	39	—
3	14～15	歩いていたところ、廃材から出ていた番線に足をひっかけて左肩から転倒した。	60～49	30
3	10～11	被災者は歩行にて作業場へ移動をしている際に、15cmぐらいの段差がある段差がある所につまずき、左足部を打った。	63～9	1
4	12～13	お昼休憩後、工場内において午後の出発に備え事務所から運搬車両に戻ろうとした際、車両駐車場手前にある排水溝（深さ7cm）に左足がはまり転倒し、左肩を強打した。	50～29	10
7	15～16	工場内で、パネル仕上げ作業をするため、休憩室から隣の作業台に向かう移動中（約10m）、スポットクーラーのコードに足が引っ掛かり転倒する。その際右手肘をコンクリート床に強打し負傷する。	55～29	10
10	7～8	セメントサイロの隣の通路で、通行する時に、段差につまずいて前方に転倒し、右手で体を支えようと手をつけた時に、負傷した。	66～9	1

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html